

《上尾特別支援学校上尾南分校の活性化・特色化方針》

種別	知的障害	学部・学科	高等部（分校）	R7.5.1 児童・生徒数	(男) 31 (女) 15	計 46人
アクセス	■ J R 高崎線 上尾駅 西口より ● 市内循環バス「ぐるっとくん」 （大谷循環・日産先回り）約 13 分 →「上尾南高校前」下車 徒歩約 3 分 ● 自転車約 15 分 ■ J R 高崎線 宮原駅西口、J R 埼京線 日進駅・西大宮駅より ● 自転車約 15 分					
＜教育課程等＞						
1 年時：自己理解を深める教育課程 ○多様な経験・体験から自己理解を深める →教科学習＋職業教育にバランスよく取り組む ○障害に基づく困難を主体的に改善・克服する。 →時間における自立活動のほか、学力の基礎となる国語・数学、基礎体力の基盤をつくる保健体育をそれぞれ週 3 時間設定。 2 年時：自己選択のきっかけをつくる教育課程 ○自己決定に向けた選択肢を増やす →いわゆる主要 5 教科をそれぞれ週 2 時間ずつ設定。 また、実生活に根ざす家庭科の授業を週 2 時間設定。 3 年時：自己決定を重ね、自立心を育む教育課程 ○教育活動のあらゆる場面で、「自分で決める」場面を設定 →生徒自身が履修科目を選ぶ選択授業を週 10 時間設定。 自己理解・自己選択の積み重ねによって得られた力をもとに、自らの進路を切り拓く。						
＜学校行事・部活動＞						
「自分をみつける」 ○学校行事 ・体育祭や文化祭、芸術鑑賞会などの校内行事（いずれも上尾南高校と合同開催） →「好き」や「得意」を生かし、全員が輝ける機会を設定する。 ・社会体験学習や修学旅行などの校外行事 →余暇活動とも関連付け、趣味や熱心に打ち込めるものを見つけることをサポートする。 ☆より豊かに生きるための力を育む。						
＜家庭・地域との連携＞						
「共に学ぶ」 ○上尾南高校との連携 ・交流及び共同学習 →上尾南高校の行事等に参加する活動に加え、上尾南高校生を分校へ招いての交流にも挑戦する。 ○地域との連携 ・職業の授業 →商品の販売活動や受注業務、清掃活動等を通して、実社会に貢献する経験を積む。 ☆社会参画への意識を高める。						
＜進路＞						
「未来へつなぐ」 ○すべての教育活動がロジカルに機能するキャリア教育 ・「なぜ」「なんのために」を問い続ける →「自立」を促すための「自律」を支援し自分自身と向き合う態度を育む。 ・生徒により添う進路指導 →生徒一人一人の実態やニーズに寄り添った進路指導を実現 産業現場等における実習を核とし、各教科の授業や日常生活の中から「自立」するための力を育む。 ☆生徒の企業就労や社会貢献につなげる指導・支援を行う。						

上尾南分校グランドデザイン 育成方針



自分をみつけ、共に学び、未来へつなぐ



目指す学校像
キャリア教育を推進し、豊かに生きる力を育てる学校

分校教育目標
自分をみつけ、共に学び、未来へつなぐ

分校の目指す生徒像

礼儀 自らあいさつができる生徒
誠実 何事にも真剣に取り組む生徒
信頼 他人から信頼される生徒
貢献 自らすすんで地域や社会に貢献できる生徒

学校教育目標（本校）
自立に向けた確かな力

～わかる・できる・つながる・ひろく～

重点目標

- ・社会の役割を担い、社会に貢献できる人材の育成
- ・インクルーシブ教育の推進およびセンター的機能の充実
- ・安心安全な学校づくりの推進

